



将来を見据えた野々市市民生委員児童委員協議会の試み

野々市市民生委員児童委員協議会 会長 東 伸明

日頃より民生委員・児童委員活動にご理解ご協力をいただき誠に有り難うございます。新型コロナウイルス感染症は、短期間で全世界に拡大し、多くの人々に被害をもたらしました。

我が国では、令和二年一月から感染が広がり、四月に全国に緊急事態宣言が出され、その後、第二波、第三波が到来、今年一月には、都市部を中心に十一都府県に再度、緊急事態宣言が出されました。一年が経過してもなお、終息の兆しが見えてきません。今後、ワクチン接種が終息への切り札になることを期待してやみません。

厚生労働省は、令和二年から五年間を目標に「地域共生社会の実現」に向けて全国展開するとしています。民生委員・児童委員は、この方針に沿って活動していますが、一方では、社会状況の変化に伴う、なり手不足と委員の高齢化などが顕在化しています。

野々市市民生委員児童委員協議会

(以下「市民児協」)では、これら問題に加え、業務の効率化、働きながら活動する就労民生委員の環境整備など将来を見据えた市民児協改革を検討してきました。

そのような中、この新型コロナウイルス感染症拡大により、昨年三月から三ヶ月間、活動自粛を余儀なくされました。地域の高齢者や支援を必要とする皆様に多大なご迷惑をおかけすることになりました。

市民児協では、このコロナ対策と将来を見据えた市民児協改革を進めるた



マスク贈呈 6月23日

め、一、地域の見守り体制の維持
二、Web会議の導入
三、業務の効率化
四、関係機関との連携の四つの目標を定めました。そして、野々市市、野々市市社会福祉協議会、金沢工業大学のご協力をいただき、全国に先駆け、昨年十一月に民生委員・児童委員九十九名全員にタブレットを配布しました。さらに昨年末にはコロナ禍におけるWeb会議、研修会の開催や会議資料配信などペーパーレス化を実施し、関係機関や委員間の情報共有を行い、活動の活性化につながる試みを進めてきました。

今後は、このタブレットを活用し、なり手不足解消、就労民生委員の環境整備、民生委員の若返りなどの一助につなげ、「地域共生社会の実現」に向けて活動強化を進めていきたいと考えています。さらにこの市民児協の試みが必ずや地域の皆様のお役に立てるものと確信しております。また、この試

みは、全国紙、地方紙、福祉関係の機関紙、広報誌などに取り上げられるなど注目を集めており、県内外に波及することを期待しています。今後とも皆様には、民生委員・児童委員活動にご理解ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもつて、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
- 一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

※本誌は、「障がい者」と表記していますが、法律名や固有名詞は、そのまま記載しています。



ウイズコロナ 将来の野々市市民生委員児童委員協議会に向けての挑戦

—— Web 検討委員会を発足して ——

Web 検討委員会 委員長 吉岡 潤

Web 検討委員会のこれまでの経過を記してみたいと思います。

タブレットを導入することが決まり、昨年九月末にWeb 検討委員会を発足しました。

当時は、学校や学習塾などがオンライン授業に向けて、タブレットを大量に利用することが予想され、一括購入できるかどうかが懸念されました。

幸いにもタブレット本体、その他必要なものは十月二十七日に一括して納品されることになり、委員会メンバー一同、ほっと胸をなでおろしました。次に課題（一、無線WiFiについて。二、タブレット、ポケットWiFiの初期設定について。三、金沢工業大学へのタブレット・アプリの操作指導などに対する協力・支援依頼について）の解決に取り組むことになりました。

一つ目は、無線WiFiの問題で、各委員のネット環境について調査を行ったところ、これもいろいろなことがありましたが、環境整備を整えることが必要だろうという事でポケットWiFiルーターを全員に配布しました。

二つ目は、百台のタブレット、ポケッ

トWiFiの初期設定の問題で、東会長の熱い思いに、Web委員で決意し、役員力を借り、そして良いメンバーに恵まれ、タブレットの初期設定やアプリをインストールすることが、すべて自分たちで設定できたことに誇りに思います。皆で力を合わせれば、成し遂げられることが改めて実感できました。

十一月二十四日の定例会開催日に全員に渡すことができ役目を果たすことができました。

三つ目の課題である「金沢工業大学へのタブレット・アプリの操作指導などに対する協力・支援依頼について」は、金沢工業大学は、野々市市と協定を結ばれており、「地域貢献」を通しての人材育成に取り組みされており、授業の一環として位置づけられており、市の助言もあり、東会長からタブレット・アプリ操作の指導などの協力・支援の依頼をさせていただきます。また、情報フロンティア学部松林賢司教授並びに学生の協力もいただけることになりました。

松林教授とのコラボで進めていくことで思いがけないアプリの提案もありま

したが、Web 検討委員会のメンバーが勉強をし、その他全委員への指導に回りました。コロナ禍ですので、メンバー及び教授・学生らと「ズーム・アプリ」にてWeb会議となり、これまた、委員のほとんどが、初めてのことでした。委員のメンバーは大半が六十歳〜七十歳代の者ばかりが新たな取り組みをするという事は、気が重く、負担感が出るのですが、メンバーのうち、数名の若い委員もあり、その委員の優しいアドバイスもあり、皆が楽しく学んでいる姿や孫のような学生たちと和気あいあいと推進できたことが良かったのだと思います。

当初の思いでは、委員全員への連絡ツールとして「結ネット」アプリを利用してタブレットに慣れてもらえればと思っていきましたが、金沢工業大学の学生たちから提案のあったアプリの利用を今後検討することで、新たな日頃の活動に役立ててもらえるようなアプリ利用をすることが可能になりました。

現在では、松林教授・学生の皆さんのご指導のもとアプリと野々市市が活用を推進している「結ネット」アプリを九十九名の委員がタブレットを活用

し、定例会開催案内通知やレジュメ等を添付し、ペーパーレス化に取り組んでおります。また、民生委員・児童委員、主任児童委員は、毎月、活動記録表を事務局へ提出しなければいけません。この作業を、タブレットでできないか、アプリ活用をお願いしており、全委員が待ち遠しく、出来ることを楽しみにまつているところです。

今後は、アプリ活用検討チーム、オンライン会議検討チーム、研修会の資料検討チーム、コンプライアンス検討チームを設置して今後のICT活用に対応していく所存です。なお、

Web 検討委員会の名称を改め、Web委員会とし、ウイズコロナ・アフトーコロナに向けて検討していきます。



Web 委員 1 月 20 日



令和2年度 民生委員・児童委員表彰

厚生労働大臣表彰

〔20年以上の者〕



絹川 博
菅原町

石川県知事表彰

〔20年以上の者もしくは
会長経験者は18年以上の者〕



東 伸明
三日市3丁目

野々市市社会福祉功労者表彰

〔9年以上の者〕



宮本 一郎
本町1丁目県住



種池美智子
本町2丁目



伊藤 久子
本町6丁目



林 正一
若松町



吉本 章男
粟田1丁目



山本 峰子
矢作2丁目



早川 恵子
矢作3丁目



米田 貞子
藤平田2丁目



大森 克成
太平寺2丁目



高木 由次
堀内5丁目



川本 宏
長池町



初野 健二
押野1丁目



井守伊保子
押野2丁目

自治功労表彰

野々市市

〔退任者〕

- | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 泉 栄太郎 | 炭谷 好子 | 山田 京子 | 越田陽志榮 | 永下 宣之 | 高野まり子 | 勝村 清和 | 川中 恵子 | 渡瀬フミ工 | 前川 一夫 | 越野 鈴江 | 高橋 吉隆 |
| 稲荷三丁目 | 太平寺四丁目 | 三納二丁目 | 新庄五丁目 | 新庄四丁目 | 新庄二丁目 | 菅原団地 | 菅原町 | 本町五丁目 | 本町五丁目 | 本町二丁目 | 本町一丁目 |

活動あれこれ

民児協独自の活動や、行政及び関係機関との協力活動も行っております。



生活福祉委員会 9月14日



障害者福祉委員会 9月14日



児童福祉委員会 10月23日



高齢者福祉委員会 10月23日



定例会時体温チェック 9月14日



赤い羽根共同募金 10月7日



タブレット説明会 11月28日



WEB委員会 1月20日



尾西 陽子
田尻町・蓮華寺町
令和2年10月6日付



駒井 一友
本町3丁目
令和2年12月7日付



無量井正人
本町2丁目
令和2年12月7日付



ひろば

民生委員・児童委員を受けて

本町地区 田圃 志津子



民生委員・児童委員を受けて五年目となりました。地区の高齢

者の方々を覚える事からの始まりでした。今では、皆さんも私の事を覚えて頂け、不審な勧誘、詐欺等の事例が記載されている「見守り新鮮情報」のチラシを持って行くと「この



情報見て助かりました」「お喋り出来て元気が出ます」等の言葉を聞いて私自身もとてもうれしく思います。

しかし、昨年からコロナ禍で会う機会も少なく、この一年間ほとんどの行事も中止となり、配布物もポストインに変更、電話での確認が増えました。とても悲しい年となりました。これからも高齢者の方々に元気と笑顔で過ごして頂きたい、社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域福祉推進員の皆さんと協力しながら見守っていかれたらと思っています。一日も早くこのコロナが収束して行くことを願っております。

さあ、下林会館に集まりましょう！

富奥地区 長 保夫



何も分からないままに、民生委員の活動をしていたときに、富奥

地区地域包括支援センターから、健康体操再開の依頼がありました。

地域包括支援センター職員との協力のもと、『おたっしやサロン下林』と称し、町内六十五歳以上の高



齢者を対象に発足して、四年目になりました。

地域福祉推進員がリーダーとなり、今はまだ十名ほどの参加ですが、月三回、午前十時から、おたっしや体操やゲームなどで、汗をかき笑顔で楽しい一時間を過ごしています。

また、外部講師を招いての自己研鑽や、年一回の地域包括支援センターの体力測定及び金城大学の認知症テストを実施して、皆さんの体力・気力・知力の向上にも励んでいます。

コロナ禍の収束はまだのようですが、引きこもらず気分転換のつもりで、集まってみませんか。二期目の今は、皆さんとの出会い

を求めて町内を巡っています。一声掛けていただければ幸いです。

五年目を迎えて・・・

郷地区 高野 外志夫



民生委員・児童委員を受けるにあたりその役割について調べた

ところ、一般のボランティア活動と違い、民生委員・児童委員活動は法律によって職務などが規定されており、その内容を熟知しておくことが大切であると知りました。そして、自分に務まるか不安を感じながら委嘱状伝達式を迎えたことが思い出されます。

その後、定例会・地区定例会への出席や研修会等にも積極的に参加することで、少しずつ活動内容を理解することが出来るようになり、当初は特に意識せず唱和していた民生委員児童委員信条も、今では活動の基本姿勢として理解し、常に心がけて行動することに努めています。

知識の蓄積があつてこそ良い知恵が生まれれると思うので、与えられた資料はもとより昨年貸与されたタ



ブレットを活用し、地域住民が抱える問題に対応したいと思います。また、カフェやサロンの中での何気ない会話にも耳を傾け、民生委員・児童委員活動に生かしたいと考えています。

浪々改悟のまっただなか

押野地区 岡田 稔



表題は、いやいやながら四年前にお受けしたこの仕事への目下の心境です。今後もこの気分でやり通せればと思えるのも有難いことです。

私の活動は日々の浪々ウォーキングのうち、何千歩かを高齢者等住宅の見守りに充て、窓・カーテンや玄関の開き具合、郵便ポストや新聞

受け、そして、夜間ゴミ出時には部屋明りの様子、さらには雪かきなどの日々の変化をさりげなく、でもじろじろと観回すという「ぶらぶらウォッチング」です。時折、声掛けしてみますと概してニコニコと顔出しされるのを見るとちよつと安堵します。

さて、布水中学校の生徒会では二年前から、一人暮らし高齢者へ年末に鉢植の花を贈呈され、私は個別訪問の道先案内人として中学生数名と一緒にプレゼントして回っています。大変に喜ばれ、中には感激して目に涙の人もおられます。

同じ高齢者の私より歓迎されています。



るなあとひがみつつも、コロナ収束後は私のためにもヤングとのイベントをやれたらと思っています。

今、思うこと

郷地区主任児童委員 西川 千恵子



主任児童委員の委嘱を受けて、三期目になりました。周囲の委員の方々に助けられ、本当に感謝をしております。

世の中は新型コロナウイルスで大変な状況になっています。昨年は、緊急事態宣言が出て、保育園や学校、職場等が休みになったり、営業短縮になり、小さい子どもたちを一人で家に残すことはできず、どうしたら良いかと悩む大人たちの姿をテレビ等で見ました。

子どもたちも家の中での生活が中心になり、身体を動かす事も少なく精神的に追いつめられる事も多かったですかと思えます。

私たち委員も保育園や学校で、子どもたちの様子を知る事ができる多くの行事が密回避のために参加中止となり、残念でさみしい思いをしま

した。

今、マスクが欠かせないこの事態を子どもたちは心の中にどう受け止めているだろうか。私たち大人はどのような時でも子どもたちを守り、寄りそっていかなければと思います。



児童憲章 前文

われらは、日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるために、この憲章を定める。

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として

重んぜられる。

児童は、よい環境のなかで育てられる。

こんにちは

民生委員・児童委員（主任児童委員）です。 生活上の心配ごと、困りごとをご相談ください

相談内容の
秘密は守ります

問い合わせ先
野々市市民生委員児童委員協議会
事務局 社会福祉法人 野々市市社会福祉協議会
石川県野々市市本町5丁目18番5号 TEL 246-0112

布水中学校との協力活動 **花プロジェクト** 生徒と一緒に取り組み

昨年度より取り組んでいる校区単身お年寄り宅への花鉢配布活動「花をとおして、地域とつながろう」では、コロナ禍の中、お年寄りとの接触を防ぎ、民生児童委員の皆様には鉢を託し、170名を超えるボランティア生徒が参加をして270の花鉢を配ることができました。

参加した生徒は「なんとか民生委員さんに渡すと、とてもうれしそうだったので、協力してよかったです。」等の感想を持ち、人に喜んでもらえることや役に立つことを実感し、充実感や達成感を味わうことができました。



ステキに育ったピオラ

～白いピオラのつぶやき～

わたしは、昨年11月布水中学校生徒さんたちから贈られたピオラです。日々のお世話と愛情で、今ではこんなに大きくそして美人になりました。布水中学校の生徒さん、仲村徳成さま ありがとう・・・



今年も色鮮やかに咲きました

今年もとても可愛いパンジーが咲きました。あまりの可愛さに、日々心が癒やされています。

布水中学校の皆様方に御礼をお伝え頂ければ幸いです。どうぞよろしく願い致します。

4班 吉田

令和3年6月1日 第10号(通巻33号)

編集・発行

野々市市民生委員児童委員協議会

〒921-8815

石川県野々市市本町5丁目18番5号

野々市市社会福祉協議会内

TEL 246-0112/FAX 246-0169

編集後記

新たな令和3年を迎えても、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、未だ収束が見られません。不安が募る日々が続いています。

私のできる感染予防として、手洗い・マスクの着用に加え、外出・会食の自粛、3つの密(密閉・密集・密接)の回避など、これからも愚直に行きます。新型コロナウイルスのワクチン予防接種が始まり、終息へのわずかな「光」が見えてきたように感じます。本誌もようやく、委員各位の協力を得て、第10号を発行する運びとなりました。
(林 正一)